



第54回 芳藍祭 開催!!



四国大学しらさぎ球技場

理事長 佐藤 一郎

本学では、『多様な個性を備えた学生が集い、活気あふれる大学』の実現にむけ、スポーツに親しみ活動的でチャレンジ精神旺盛な学生を受け入れるため、平成26年度より「スポーツ分野特別入学試験」を実施し、入学者に「スポーツ分野特別奨学金」を給付する制度を設けました。

これに併せ、古川キャンパスから車で7分、徳島市中心街からも交通至便の鶴島グラウンドに今春完成をめざし「四国大学しらさぎ球技場」の整備を進めています。しらさぎ球技場は、FIFA公認サイズの人工芝球技場でサッカーなど学生の課外活動の場とするとともに大学と地域住民等との交流の場としても活用したいと考えています。

本学では、今年度アイナック神戸や徳島ヴォルティスをはじめとする県下の各種スポーツ団体との連携協定を締結し、女子サッカー部には実績と指導力を備えた監督を迎えました。四国大学教育改革プログラムによりスタートした新カリキュラムに加え、文部科学省から採択を受けた「地（知）の拠点整備事業」による地域志向教育と併せ、スポーツを通じた人間形成に取り組むことで、時代が求める地域貢献型人材の育成を推進し、本学から全国へ、さらには世界へ羽ばたく選手が誕生することを期待しています。



先進的地域貢献大学を目指して

学長 松重 和美

四国大学では、より一層“学生にとって魅力ある大学”、“自己実現が出来る大学”を目指して、多様な取組みをしています。教育改革プログラム2014の実施を始め、全学生を対象とする、社会人基礎力・自己教育力・人間/社会関係力を習得する「四国大学スタンダード」授業の充実や社会の変化に応じた学科・コースの改編も進めています。また、いよいよ今春には女子サッカークラブの創設やしらさぎ球技場の完成と、スポーツ分野での新たな活動が具体化してきます。

我が国では、地方創成の取組みが本格化しています。本学では、徳島県で唯一採択された文部科学省の“地（知）の拠点整備(COC)事業”が始動し始め、地域の現状を知り、その活性化に貢献出来る学生の育成を含め、地域教育の拡充・体系化など、“先進的地域貢献大学”を目指したいと考えています。

本学の平成26年春の就職率は95.7%と過去最高値となり、入学者数も減少傾向に歯止めがかかった様にも思います。大学としては、今後とも在学生の一層の知的・人間的成長、そして全ての卒業生が希望する進路・職場につける様、最大限の支援をしたいと教職員一同、願い・努力したいと考えています。

平成26年度

父 母 会 だ よ り



父母会会長あいさつ

父母会会長 佐野 雅 史

父母会役員を代表してご挨拶申し上げます。

平成27年の新しい年を迎えられ、ご健勝で心よりお喜び申し上げます。そして今年もよい年になりますように。

日頃は、本学父母会の振興にご尽力を賜っておられる父母会会員のみなさまに敬意と感謝を申し上げます。また、本学教職員、関係者の皆様よりご指導をいただいておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

世の中、意識しても、なかなか実行できないのが、世の常であります。ただ、意識して行動すると、そうでないのとでは、長い人生の中で大きな開きが出ます。生き方、健康のこと、勉学のことと自戒が必要です。我が家の次女も今年3月に卒業となりますが、就職をしても同じです。たとえば、仕事への自戒は…… 仕事は、自ら創るもの、与えられるべきものではなく、他人から、あれをせよ、これをせよと指示されてするのではなく、今何が必要か、どれが急ぐのか、やるべき仕事を自ら求め創造し、判断して行動する。放さずなしとげる。研究や開発等、何事においても取り組み始めたら途中で投げ出さず、行き詰まれば元に戻り、発想を変えてあらゆる角度から検討し、解決の糸口を見つけ出す。

「早く収まらず、先に憂い、後に楽しむ。」学生の皆さんには、この言葉のように、心配や悩み事は、先に解決し、問題を後に残さない等々。多岐にわたり意識を持ち、がんばってほしいと願っています。

地区別父母懇談会開催

地区別父母懇談会は、6月29日の沖縄県地区を皮切りに、香川県・中国地区・高知県・愛媛県で開催しました。広島県での大規模な土砂災害、高知県では2,000ミリを超える大雨の影響などで開催が心配されましたが、各会場多数の保護者のご出席をいただきました。

はじめに、松重学長が時代にあった人材を育成するための教育組織や指導内容等、本学の新しい取り組みについて説明をしました。引き続いて、小笠泰史学生支援担当部長より学生生活全般にわたるサポート体制、福井清二就職キャリア支援部長からは資格取得支援や就職状況、次年度の就職活動について説明を行いました。

その後学部・学科別懇談、午後からは参加者一人一人に学科・専攻別個別面談が行われ、キャンパスライフや成績、進路についての思いや願いを熱心に相談されていました。待ち時間は、DVDをご覧いただき学内の現状をさらに紹介しました。多くの保護者から、各学科・専攻の先生方と情報収集・交換ができて有意義な会でしたと言っていたり、初めて出席した保護者からも、来年もきますとのお声をいただき好評でした。来年度も開催を予定しております。今年度は都合の合わなかったみなさまも、ぜひご参加ください。開催日程は、HP等でお知らせいたします。

沖縄県地区父母懇談会	6月29日(日)
香川県地区父母懇談会	8月30日(土)
中国地区父母懇談会	8月31日(日)
高知県地区父母懇談会	9月6日(土)
愛媛県地区父母懇談会	9月7日(日)



父母会第1回評議員会及び 総会開催



6月15日(日)午前10時30分から本学本館大会議室において、佐野雅史会長はじめ役員・評議員73名、大学側からは佐藤一郎理事長・松重和美学長はじめ関係者15名が出席し第1回評議員会を開催しました。

佐野会長の挨拶のあと、佐藤理事長は本学の現状、松重学長は教育改革の取り組みについて述べ、続いて予定された議事について審議しました。

午後1時からは共通講義棟において、保護者221名の出席のもと総会を開催しました。役員改選では、松村小百合監事の退任に伴い、後任として島田美穂氏、新しく副会長に上間正巳氏が選任されました。長年、監事としてご尽力いただいた松村小百合氏には、松重学長より感謝状と記念品が手渡されました。その後、予定された議案は満場一致ですべて承認され、最後に大学側から様々な改革・改善に向けた今後の取り組みについて、学生生活の様子ならびに就職状況の報告等も詳細に行われ、盛会裡に終了しました。

総会終了後、各学科・専攻毎に、保護者と教員による個別面談が熱心に行われました。

父母会第2回評議員会開催

11月8日(土)午前10時30分から本学本館大会議室において、佐野雅史会長はじめ役員・評議員60名、大学側から佐藤一郎理事長・松重和美学長はじめ関係者14名の出席のもと第2回評議員会を開催しました。

議事では、父母会の活動状況や大学の支援事業について出越学生支援課長より説明があり、引き続いて小笠泰史学生支援担当部長からは、より充実したキャンパスライフに向けて、福井清二就職キャリア支援部長より、これからの採用活動に関するルール変更等について説明を行いました。

最後に、松重学長より文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択された四国大学COC事業「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」の取り組みについて説明がありました。また、評議員からは、本学生が北島町のHP作業に関わったり、交通事故防止を呼びかけるテレビコマーシャルの制作に取り組んだり活躍しているニュースを耳にするとうれしいし、他の学部生の励みになるというお話やご意見をいただき、充実した評議員会となりました。当日は恒例の芳藍祭期間中でもあり、参加された方々も学生の屋内展示・模擬店・演技発表を観覧されました。



第54回 芳 藍 祭

藍 and you!! ～君と作る芳藍祭!～



第54回四国大学芳藍祭が、11月6日(木)の前夜祭にはじまり、7日(金)から9日(日)、10日(月)の表彰式にかけて開催されました。学生が自主的に企画・運営した模擬店出店や屋内発表、屋外での演技発表が行われ、日頃の練習の成果を十分に発揮し、大学祭を盛り上げました。また、8日(土)は、音楽ホールで「上野優華」のトークショー&ミニライブが開催され、多くの方がご来場くださり盛況の公演となりました。

芳藍祭の開催・運営にご協力いただきました企業・団体の皆様ならびに関係者の皆様に深く感謝いたします。期間中は保護者の方をはじめ、学外の来賓の方や高校生、多数の一般の方にご来場いただき、ありがとうございました。



委員長あいさつ

第54回 芳藍祭運営委員長

濱 田 千 帆

芳藍祭は今年で54回目を迎えました。例年以上の盛り上がりで、多くの方に芳藍祭を楽しんで頂くことができました。最終日はあいにくの雨で、野外ステージでの演技発表が中止となりましたが、大きな問題もなく無事に3日間やりきることができました。

今年は新企画として「学祭deおどってみた」という踊りの完成度を競う催しを行いました。新企画だったので、開催できるかなど不安でいっぱいでしたが、芳藍祭を盛り上げようと多くの学生の皆さんが応募してくださいました。当日も演技発表共々大盛況で、来年以降も継続して開催できる定番イベントに成長していくと確信しています。

最後になりましたが芳藍祭を開催するにあたり、ご指導いただきました諸先生方をはじめ各学科・クラブ・同好会の関係者の皆様方、今まで芳藍祭を築いてくださった先輩方、そして地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

..... 芳藍祭表彰一覧

テーマ・サブテーマ考案
生活科学部 児童学科3年

表紙・ポスターデザイン
文学部 日本文学科3年 森 みちる



..... 芳藍祭奨励賞一覧

部門	賞	団体名	内容
総合	同窓会長賞	手話点字クラブ	手話による手話コーラス
展示発表	最優秀賞	管理栄養士養成課程	糖尿病についての展示
	優秀賞	看護学部	ガンに関する展示・ガン予防プロジェクト
	努力賞	書道クラブ	作品展示
	感動賞	手づくりおもちゃクラブ	おもちゃ展示
	創作賞	四国大学同窓会	パネル写真展示
演技発表	最優秀賞	三大踊り	エイサー(沖縄)・よさこい(高知)・阿波踊り(徳島)
	優秀賞	エアロビクシアダンスクラブ	エアロビクシアダンス
	努力賞	軽音楽クラブ	演奏
	感動賞	ジャグリングクラブ	ジャグリング
	創作賞	音楽科	演奏
発模 擬店 表	ハッスル賞	短期大学部 食物栄養専攻 1年	しこぼんパン
	ハッスル賞	バレーボールクラブ	うどん
	ハッスル賞	沖縄県人会	沖縄料理
	ハッスル賞	生活科学部 管理栄養士養成課程 1~3年	パウンドケーキ

総合・同窓会長賞・手話点字クラブ

児童3年 小原菜都美

芳藍祭に向けて、見てくださっている方に感動してもらえそうな手話コーラスを目指し、一生懸命練習してきました。つらかったことや大変だったこともありましたが、本番では、私たちの手話コーラスを見て泣いてくださった方もいて、私たちも思わず涙があふれました。私たちにとって最高の思い出となっています。本当にありがとうございました。



展示発表 最優秀賞 管理栄養士養成課程

管栄3年 中越 智夏

私たちは「糖尿病」について研究をしました。その結果、糖尿病について理解し、生活習慣を改善していくことが大切だと私たちも再確認することができました。そして、最優秀賞という素晴らしい賞をいただけたのは、研究や調査にあたり、ご協力をいただきました方々のおかげです。ありがとうございました。



演技発表 最優秀賞 三大踊り

よさこい踊りクラブ 児童3年 横山亜希子

今回三大踊りとして芳藍祭演技発表最優秀賞を受賞しとても嬉しく思います。よさこい踊りクラブとしましては今年には人数が少ない中、例年通り三大踊りとして演技し日々の練習の成果を十分に出し切り、たくさんの方に見ていただくことができて充実した2日間となりました。ご支援してくださった先生方や撮影にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



沖縄県人会 看護3年 湧川 哲百

今年は沖縄県人会の中心である3年生が看護学科の実習のためなかなか学祭前の練習に全員参加できない状況だったのですが先輩や後輩のサポートもあり、ウチナーンチュ持ち前の明るさで練習を乗り越えました。時には練習が行き詰ったりし、うまく行かず悩んだこともあったのですが後輩の元気さにパワーをもらい、先輩のアドバイスで支えてもらいベストなパフォーマンスに上げることができました。県人会の全員の頑張りでも今年も演技発表で最優秀を頂くことができました。日々の練習でお世話になった先生方や運営委員の方々、本当にありがとうございました。



阿波踊りクラブ 児童3年 河野 円香

この度は演技発表最優秀賞という素晴らしい賞を頂きましてありがとうございます。この芳藍祭が大学4年生の先輩や短期大学2年生の子と踊る最後の大きな舞台でした。練習など大変なこともありましたが、今までの練習の成果を出し切れた本当に楽しい2日間でした。これから、見てくださる方が笑顔になるような演技ができるよう頑張っていきたいと思います。



展示発表 優秀賞 看護学部



同窓会

今年度は、例年行っている大学の歴史や教職員の写真展示に加え、佐藤久子学園長先生のメモリアルパネルを作成し、久子先生の手作りの作品や写真とともに展示しました。また、学内外の皆様から久子先生とのエピソードをいただき、メッセージカードにて展示しました。懐かしい大学の風景や写真、久子先生との思い出に触れあい、来場者の方々も大変喜んでくださいました。

演技発表 優秀賞 エアロビクシアダンスクラブ



カラオケ大会

歌唱力部門 優勝

メディア情報2年 山本康士郎

今回初めて1人でカラオケ大会に参加して優勝することができました。はじめは自分が優勝できるなんて思ってもいませんでした。1次予選を勝ち抜いて前日祭の日にたくさんの人の前で歌う緊張感に負けそうにもなりましたが、演奏が終わったあとに拍手をもらいほんとにいい経験になったと共に感謝の気持ちでいっぱいでした。本選の決勝では前日祭よりも自分の歌が歌えたと思ったのでそれだけで満足でしたが、賞状やトロフィーをいただきそしてたくさんの周りの友達や知り合いの方にも「おめでとう」と言われ、ほんとに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからいろんなことに挑戦してまた新しいなにかをきっかけにこれからの生活に役立つことがあればいいなと思います。

自分の歌をきいて投票して下さったかたや、拍手をおくって下さったかたそして芳藍祭運営委員会のみなさんほんとうにありがとうございました。



パフォーマンス部門 優勝 山ゼミ9

児童4年 坂東 洸

最後の芳藍祭ということで、ゼミのみんなで思い出を作りたいという何気ない気持ちで出場しました。実習などで時間が無い中でしたが、時にはぶつかり、時には励まし合い、みんな一生懸命に練習しました。最後に優勝の言葉を聞いたときに、心の底からゼミのみんなに会えたことを嬉しく思いました。この経験を忘れず、先生として頑張っていきたいです。



短期大学部食物栄養専攻1年 しこぼんパン



バレーボールクラブ うどん



模擬店発表 ハッスル賞

沖縄県人会 沖縄料理



生活科学部 管理栄養士養成課程1～3年 パウンドケーキ



全国大会で活躍!!

—スポーツ分野—

● 陸上クラブ ●

2014日本学生陸上競技個人選手権大会

居川汐里選手（経情2年）女子ハンマー投で優勝!!

平成26年6月20日（金）～22日（日）に神奈川県平塚市総合運動公園Shonan BMWスタジアム平塚（ハンマー投会場：東海大学湘南校舎陸上競技場）で行われた2014日本学生陸上競技個人選手権大会において、女子ハンマー投に出場した居川汐里選手（経情2年）が、11年ぶりに徳島県記録を更新する好記録58m40cmで優勝しました。また、同種目に出場した村尾茉優選手（生活1年）も8位入賞しました。その他にも下表の通り多数の大会で好成績を収めており、今後益々の躍進が期待されます。



左から居川選手（経情2）、村尾選手（生活1）

大会名	開催日	種目	選手名	結果
西日本学生陸上競技対校選手権大会	7/4～6			優 勝
天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会	9/5～7	女子ハンマー投	居 川 汐 里（経情2）	3 位
秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会	9/21			5 位
日本ジュニア陸上競技選手権大会	10/4	女子ジュニアハンマー投	村 尾 茉 優（生活1）	5 位
中国四国学生陸上競技選手権大会 ※居川選手はこの大会の女子最優秀選手賞を受賞	10/24～26	女子ハンマー投	居川汐里（経情2）	優勝（大会新）
			村尾茉優（生活1）	準優勝（大会新）
		女子砲丸投	村尾茉優（生活1）	優 勝
			柏木美穂（日文3）	準 優 勝
		女子円盤投	居川汐里（経情2）	準 優 勝

第65回四国地区大学総合体育大会

各参加種目で熱戦を展開

平成26年6月21日（土）～7月6日（日）の期間、香川県内各会場で開催された第65回四国地区大学総合体育大会（四国インカレ）が開催され、本学からは16競技に273名が参加しました。

団体戦では男子の部で軟式野球クラブ、女子の部で弓道クラブが日頃の練習の成果を発揮し準優勝を獲得しました。また、団体戦の男子弓道クラブ、女子硬式テニスクラブ、女子ソフトボールクラブ、その他個人戦でも多数の競技で入賞を果たしました。その結果、男子総合7位（16大学中）、女子総合5位（18大学中）と健闘しました。



上が上原選手（看護2）

● 弓道クラブ ●

第62回全日本学生弓道選手権大会

男子個人戦で準優勝!! 団体でも決勝トーナメント進出

平成26年8月12日（火）～14日（木）、神戸グリーンアリーナ特設会場にて第62回全日本学生弓道選手権大会が開催されました。大会には全国から男子198校、女子213校が参加し男子個人戦で筒井勇斗選手（経情2年）が準優勝を獲得しました。団体戦では男子が予選上位24校による決勝トーナメントに進出しましたが、1回戦で福岡大学に惜敗しました。

また、平成26年10月13日（月）～15日（水）、長崎県島原市霊丘公園弓道場・特設遠的弓道場にて第69回国民体育大会（長崎がんばらば国体）が開催されました。大会には本学から辻紀子選手（児童2年）が徳島県成年女子の選手として参加し、遠的競技にて3位入賞を獲得しました。また、原芳浩選手（日文2年）も成年男子の選手として参加しましたが、惜しくも入賞を逃しました。



筒井選手（経情2）



辻選手（児童2）

第65回四国地区大学総合体育大会の成績について（報告）

（男子・団体）

競技種目	成績
軟式野球	準優勝
弓 道	第3位

（男子・個人）

競技種目	成績
弓 道	優勝 筒井 勇斗（経情2年）

（女子・団体）

競技種目	成績
弓 道	準優勝
硬式テニス	第3位
ソフトボール	第3位
バレーボール	ベスト4

（女子・個人）

競技種目	成績
水 泳	50m平泳ぎ 優勝 上原あやめ（看護2年）
陸 上	砲丸投げ 優勝 村尾 茉優（生活1年）
	砲丸投げ 準優勝 柏木 美穂（日文3年）
弓 道	優勝 辻 紀子（児童2年）
少林寺拳法	有段 組演武の部 第3位
	橋本 瑞希（管栄3年） 佐藤実樹子（児童2年）

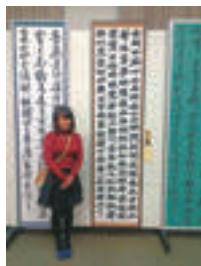
学科の特性を活かし様々な分野で活躍

● 文学部書道文化学科 ●

第69回徳島県美術展書道部門で特撰・準特選を受賞

徳島県美術家協会・徳島新聞社主催による第69回徳島県美術展の書道部門で、郡 彩佳さん（書道3年）が特選を受賞し、同じく村上 大吾さん（書道3年）が準特選を受賞しました。その他、多くの卒業生や在学学生が入賞・入選しました。作品は、10月21日～28日の間、徳島市あわぎんホールで展示されました。

また、独立行政法人国立青少年教育振興機構の主催による第5回全国青少年書き初め大会（於、国立オリンピック記念青少年総合センター）の大学生部門で、郡 彩佳さんが最高賞の文部科学大臣賞を受賞（漢字）しました。受賞作品は2月1日～27日の間、同会場で展示されました。



郡さんの作品

● 経営情報学部メディア情報学科 ●

北島町HPリニューアル・交通事故防止テレビCM制作

本学と北島町の連携交流の一環で開始した、北島町ホームページのリニューアル作業が完了し、10月1日より新ページの運用がスタートしました。特長は、学生が作成したキャラクターがナビゲートしたり、動画で施設を紹介していること等、北島町を代表する花や施設などをトップページに写真で大きく掲載し、参照頻度の高いコンテンツを分かりやすく配置するとともに、従来のカラーコンテンツも参照できるようにしていることなどです。是非ご覧ください。（<http://www.town.kitajima.lg.jp/>）

また、交通事故防止を呼び掛けるテレビコマーシャルの制作にも取り組みました。自転車同士の事故や運転中の携帯電話使用など学生に身近な危険をテーマに、配役から撮影までの全てを学生が行い、11月中旬に完成しました。年末年始の交通安全運動期間（12月10日～1月10日）に県内のケーブルテレビ16局で放映されました。



● 生活科学部児童学科 ●

「平成26年度とくしま業務改善貢献賞」受賞一田村ゼミ

平成26年12月19日に児童学科田村ゼミは、「平成26年度とくしま業務改善貢献賞」を受賞し、ゼミ代表の三原勇気さん（児童4年）が、知事より表彰状を受け取りました。

今年1年間、徳島県もようかるブランド推進課と一緒に、すだちダンサーズとして、徳島県のマスコットキャラクターすだち君のPR活動をしたことが認められました。活動報告では、すだちダンサーズとしての1年間をプレゼンテーションで振り返り、最も印象的であったイベントは愛知セントレアでの「ゆるキャラグランプリ」でした。その他の活動も含めこれらの活動は、全て貴重な経験となったようです。この受賞を誇りにし、今後も徳島県に貢献して欲しいと思います。



● 文学部国際文化学科 ●

第5回徳島県中国語スピーチコンテストで最優秀賞受賞

平成26年10月19日、徳島県国際交流協会（TOPIA）会議室で行われた第5回徳島県中国語スピーチコンテスト（徳島県日中友好協会主催）にて、森本愛さん（国際3年）が「対中国的印象」と題して発表し、最優秀賞に輝きました。



森本さんは、昨年8月から今年7月までの間、本学の協定大学である中国・湘潭大学にて交換留学生として学び、その留学生活で感じたことや経験したことをもとにスピーチを行いました。

● 生活科学部生活科学科デザインコース ●

第99回二科展デザイン部門 3名入選

平成26年7月、第99回二科展デザイン部門の審査会が東京の国立美術館で開催され、小川菜々さん・村田和佳子さん（ともに生活1年）宗本真里奈さん（生活3年）が入選を獲得しました。二科展デザイン部門は、全国公募でプロ・アマ同時審査のため学生の入選は非常に難しい公募展です。

今回、1年生の2人は、初出品、初入選。また、3年生の宗本さんは、1年生から3年連続入選を果たしました。



村田さんの作品



小川さんの作品



宗本さんの作品

● 短期大学部人間健康科食物栄養専攻 ●

「第1回チャレンジ！糖尿病いきいきレシピコンテスト」審査員特別賞受賞

平成26年10月19日「第1回チャレンジ！糖尿病いきいきレシピコンテスト」の「第二次実技審査（最終選考）」および「表彰式・レセプション」が実施されました。このコンテストは、若い世代に糖尿病への関心を高めてもらうため、日本在住で栄養士・管理栄養士を目指し学業に励んでいる全国の学生（専門学校・短大・大学）を対象に全国からレシピを募集し、この中から選ばれた12校12チームがレシピを再現調理、審査員による試食審査を行います。本学から谷綾乃さんと平山智佳さん（ともに食栄2年）のチーム（チーム名：食栄ふくとりー）が出場し、「阿波尾鶏のレンコンすだちソースかけ」を調理し、みごと審査員特別賞を受賞しました。



平成26年度 文部科学省 「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択

文部科学省の平成26年度「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に、本学提案の“とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業”が採択されました。

この事業は、連携自治体(徳島県・徳島市・美馬市)の協力を受け、地域貢献型人材の育成を目指す取組で、Shikoku University Dream Achievement(四国大学夢実現)の頭文字から“SUDAchiプロジェクト”と呼んでいます。

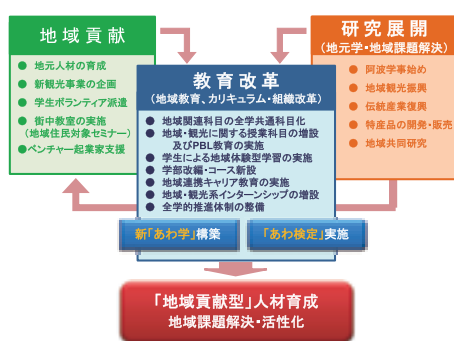
本プロジェクトでは、学生に直接地域を感じてもらうことを重視した教育・研究活動を展開します。特徴的な取組である徳島の今を取り扱う新「あわ学」と、体験を取り込んだ「あわ検定」は、学生の気付きを促すツールとして講義での活用を企画しています。なお、「あわ検定」(平成29年実施予定)は一般の方も受験可能です。是非ご参加ください。

既に、学長の下でプロジェクトを統括する地域教育・連携センター(SUDAchi推進室)を開設、また、地域活動の拠点となるスーパーサテライトオフィス(SSO)を美馬市と美波町にそれぞれ開所しました。SSOには地域の皆さんから相談が寄せられるなど、順調な滑り出しをみせています。

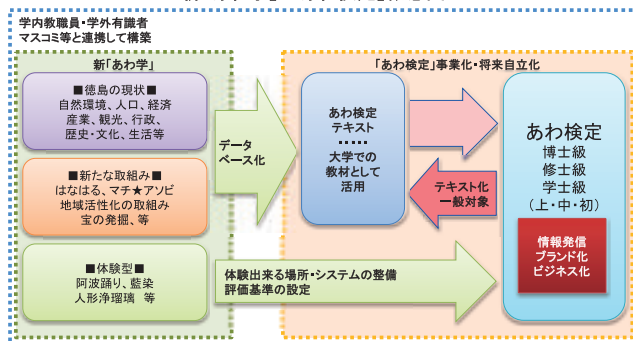
今後のSUDAchiプロジェクトの展開をご支援頂きますようお願いいたします。



SUDAchiプロジェクト概念図



新「あわ学」・「あわ検定」概念図



平成26年度 四国大学学生プロジェクト支援事業

「きみのやる気を応援します！」

今年で4回目となる学生プロジェクト支援事業に、学生が主体的に取り組む教育研究、社会・地域貢献に関するプロジェクト15件の応募がありました。書類審査、ヒアリングの結果12件が採択され、6月に認証式を行いました。前期にて終了した『四国大学災害ボランティア支援スマイルキャラバン隊 in いわて』は芳藍祭期間中にパネル展示による活動報告、その他11件もパネル展示による中間報告を行いました。

各プロジェクトとも当初の計画どおり進捗しており、各分野で教育・研究、地域活性に貢献し、マスコミ等に取り上げられたものもありました。また、この事業に参加している長谷川加奈さん(メディア4年)は徳島を素材に制作したデジタルコンテンツが認められ、第4回「ICT(愛して)とくしま大賞」において、大賞を受賞しました。

今後も年度末まで長期プロジェクト11件は活動を続け、平成27年4月にプレゼンテーションによる活動報告会を予定しています。



「学生支援GP認証式」



「買い物難民を救え!ー蔵本駅前地区のお年寄りのためにー」



「Good Smile in Tokushima ぶろじえくと〜Final〜」

学生支援GP採択プロジェクト一覧

1	四国大学災害ボランティア支援スマイルキャラバン隊 in いわて	学生ボランティア活動支援室
2	吉野川のシジミを絶滅の危機から救え!	看護学科
3	スタジアム学園祭	経営情報学科 管理栄養士養成課程
4	買い物難民を救え! 一蔵本駅前地区のお年寄りのためにー	経営情報学科
5	学生の書道の力で高めよう! 地域活力	書道文化学科
6	震災に学ぶ子どもの発達	児童学科
7	Good Smile in Tokushima ぶろじえくと ~Final~	メディア情報学科
8	四国大学発 国際交流サークル ー教室を飛び出せ! 僕らの国際交流ー	国際文化学科
9	四国大学発 障がい者アクティビティの開発プロジェクト	介護福祉専攻
10	Tokyo Game Show 出展を目標とした スマートフォンゲームの制作	メディア情報学科
11	カポエイラと身体表現で楽しくアート・コミュニケーション!	児童学科
12	四国大学短期大学部音楽科「出前ライブ」 ー音楽の感動を届けようー	音楽科

「正規就職をかちとろう」 ―就職活動日程の変更と短縮化への対策―

就職支援課長 富 本 輝 仁

安倍晋三首相の「大学生は学業を優先すべき」だという要請を受けて、経団連は大学生の就職試験を12月から説明会やエントリーシートの受け付け開始などの就職活動は3月から、採用選考試験開始は卒業年度の4月開始を8月開始に改めました。これによって10月の内定式まで2か月間で短期選考が行われることになります。大学3年生（短大1年生）の授業は正常化し、大学で教育を十分受けて高い学力と豊かな人間性を身に付けた学生が社会に出てくる事になるはずでした。

ところが、一部の企業はこれまでのように本当に欲しい人材をじっくり採用できないのではないかという不安から、3年生の秋からワンデーインターンシップを募集して優秀で意欲のある学生を自社に集めたり、新人社員に卒業先の大学の後輩を訪問させるなど、様々な受験生囲い込みを実施しています。

このような情勢の元で、不安にならずに堂々と就職試験に臨み、希望する就職先から正規就職を勝ち取るためにはどうしたらいいのでしょうか。

まず最初に、大学生活をしっかりと充実させておくことです。専門科目を中心に授業内容をしっかりと身に付けることです。大学の成績証明書の提出や資格取得見込み証明書を義務付ける会社も多くなっています。大学で身に付けた学力と資格を採用時に確認するのは当然だと考えられます。また国家試験が不合格になったり、資格取得に必要な単位を取らなかった場合は内定した職を辞退しなければならなくなります。サークルや大学祭、ボランティアなどの諸活動にも積極的に参加しておくことです。「大学時代に一番力を入れたことは何か。そこから何を得たか」という質問に、自信を持って答えることができる大学生活を送っておくことです。

二つ目には、就活開始までに就職に関する準備をしておくことです。就活が開始されると同時に自信を持って就活を進めることが必要になります。希望する会社の選定のために、業種や職種を知り、企業研究をします。第

1希望の1社だけを受験するのではなく、県内外の20社程度にエントリーを準備すると良いでしょう。職場を幅広く考えることができます。エントリーシートや履歴書作成には、自己PRや長所・短所をみつめる自己分析、なぜその会社に就職したいのかとか入社して何をやりたいのか等を問う志望理由が必要とされます。キャリアセンターでは皆さんが自信を持って就職試験に臨めるよう、就職や専門職、エントリーシート、面接などのガイダンス、履歴書、業種・職種などの各種セミナーやインターンシップやトライツアー等を実施しています。

三つ目には、健康で規則正しく生活を送っていきける力を身に付けることです。就活では授業と並行して実施されていきます。土日や春休み・夏休み期間中も関係なく就職試験は実施されます。受験計画に基づいたスケジュールを立て、会社の選定、エントリーシートの作成と提出、履歴書の作成、会社説明会の参加、一般常識やSPIテスト等の採用試験、集団面接やグループディスカッション、個別面接を乗り切る必要があります。スケジュールを管理して無理のないものにして計画的に実施していきます。

四つ目には、情報の獲得です。就職情報は定期的にHPで確認する必要があります。どんな会社がどのような人を求めているのかという求人情報、会社の理念や主な営業活動など知っておくと良い情報は会社説明会や企業セミナーなどでも得ることができます。積極的に参加してみましょう。また新聞やテレビのニュースを毎日確認して国内外の政治や経済などの動きも知っておいて下さい。面接時に客観的で正確な応答をすることができ、一般常識テストにも役立ちます。

どのような状況になろうと、新卒学生は有利に就職できるチャンスです。四国大学から徳島を始め京阪神、関東、そして全国各地や世界にと、大空に大きく羽ばたいて行くために、キャリアセンターは全力で学生を支援していきます。しっかりと活用して下さい。



		平成24年度	平成25年度
大 学	文 学 部	89.2%	92.9%
	経営情報学部	93.5%	92.0%
	生活科学部	92.2%	97.0%
	看護学部	98.6%	100%
	計	93.2%	95.8%
短期大学部		96.9%	95.2%
全 体 計		94.1%	95.7%
求 人 件 数		1,226件	1,726件

		平成24年度	平成25年度
公立学校教員合格		52名	44名
内 訳	現 役	12名	14名
	卒 業 生	40名	30名
公務員合格		42名	50名
国公立病院看護師 助産師保健師合格 (徳大病院等の独立 行政法人等は除く)		36名	33名

第12回四国大学 青春川柳コンクール

2003年度から始まった四国大学青春川柳コンクールは、今回で12回目を迎えました。2014年度のコンクールには、1,705人から5,768句の応募がありました。高校は、北海道の旭川龍谷高校から沖縄の県立小禄高校まで、一般の方からのメールや郵便による応募もたくさんありました。

表彰式は、大学祭（芳藍祭）期間中の2014年11月8日（土）に行われました。今回の特別賞（10句）は右の通りです。それに、入選40句、佳作100句を加えて、総計150句を収めた作品集を製作しました。



2014・四国大学青春川柳大賞

残りものを福にするのはあなた次第	河永璃菜（徳島・城西高校）
学長賞	
継続が力になるのはいつですか	米本卓夫（東京都）
理事長賞	
ボール見る見すぎてしまいストライク	川尻優太（徳島・那賀高校）
学園長賞	
近いようで遠い空のような人	米田友香（徳島・小松島高校）
文学部長賞	
誉めてるの？「平安だったらモテてたよ」	村山文音（徳島・富岡東高校）
曲がり角曲がった先も曲がり角	細川光洋（高知工業高専教員）
学生支援担当部長賞	
小バンザイしてみるテープのないゴール	菅伸明（愛媛・新居浜商業高校教員）
お酒まで父さん2年待っててね	新田凌（徳島科学技術高校）
図書館長賞	
からっぽな自分がとても重かった	鴛海綾裕美（徳島北高校）
結び目をほぐさず切った日の短気	有内澄子（徳島市）

◆四国大学後援会総会開催◆

11月7日（金）平成26年度後援会総会が、会長をはじめ役員・会員16名、大学側から佐藤理事長他関係者14名の出席のもと開催されました。議事では、平成26年度決算報告、平成27年度予算案などが審議され、原案どおり承認されました。次に、大学の現状報告として松重学長から「全学共通教育センター」および「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」について報告がありました。会員からは後援会に寄せる活発なご意見を頂き盛会裡に終了しました。



3.28 SAT 11:00-16:00 SPRING OPEN CAMPUS

送迎バスを利用される方はご記入ください。
コース名（ ）
来場場所（ ）
※入場券は、徳島大学交通プラザから500円（バスは、申し込み不要です。
乗車券別） 10:20前、10:30前

希望学科に ☒ を入れてください。

四国大学

文 学 部 ☐ 日本文学科 ☐ 書道文化学科
☐ 国際文化学科

経営情報学部 ☐ 経営情報学科 ☐ メディア情報学科

生活科学部 ☐ 生活科学学科 ☐ 児童学科
☐ 管理栄養士養成課程

看護学部 ☐ 看護学科

四国大学短期大学部

☐ ビジネス・コミュニケーション科
人間健康科【☐ 食物栄養専攻 ☐ 介護福祉専攻】
☐ 幼児教育保育科 ☐ 音楽科

※音楽科 体験レッスンを希望される方は、
ホームページまたはお電話（フリーダイヤル 0120-65-9906）
にてお申し込みください。

イベント内容

Information

ランチ休憩 12:10-13:30 送迎バス 運行

※オープニングオリエンテーション
※歓迎イベント
※学科・専攻別説明会
※修習学習・情報授業・在学生との交流
※学内施設見学
※保護者説明会
※学生生活相談コーナー
※学科相談コーナー
※クラブ展示・紹介コーナー
※クラブアトラクション
※ドリンクコーナー
※在学生とのフリートーク など

平成27年度 オープンキャンパス日程

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
6/21(日)	7/20(木)	8/2(日)	8/22(土)	9/23(木)